

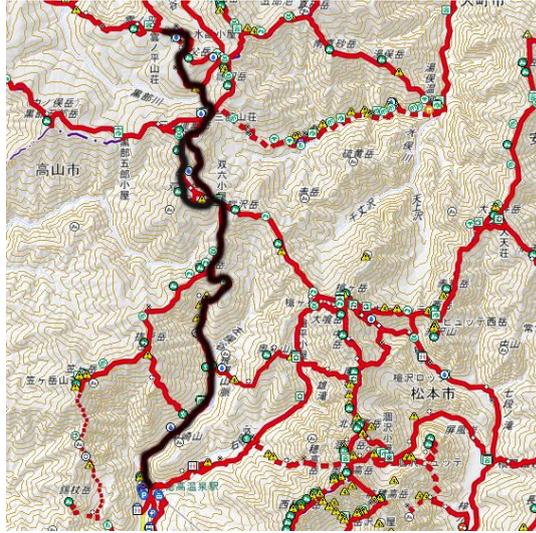
山行報告書

京都田辺山友会

報告者 原田

山名	双六岳・三俣蓮華岳・雲ノ平		山行名	例会
ルート	新穂高温泉→わさび平小屋(泊)→双六小屋(泊)→三俣山荘→雲ノ平→三俣山荘(泊)→三俣蓮華岳→双六岳→新穂高温泉(泊)			
山行日	2025年7月27日(日)~7月31日(木)	天候	晴れ	
参加者	CL原田 SL米田 仲野 多田 森田 岡本 山内 川田(真) 阪本			

ルート概略図



コースタイム

地名		時:分	地名		時:分
京田辺	発	7/27 6:30	三俣山荘(泊)	着	15:50
ホテル穂高	発	13:35		発	7/30 4:15
わさび平小屋(泊)	着	15:12	三俣蓮華岳	着	5:30
	発	7/28 4:45	双六岳	着	7:43
鏡平小屋	着	10:34	双六小屋	着	9:52
双六小屋(泊)	着	14:50	鏡平小屋	着	13:07
	発	7/29 4:15	わさび平小屋	着	17:35
三俣山荘	着	8:26	ホテル穂高(泊)	着	18:41
黒部川源流	着	9:37		発	7/31 9:30
雲ノ平	着	11:30	モネの池	着	12:30
	発	13:30	京田辺	着	17:30

山行報告

北アルプスの最深部にある秘境、黒部川源流と雲ノ平に女性ばかり9人、名付けて双六雲ノ平 Girls 行って参りました。

一日目、新穂高温泉からわさび平まで蒸し暑い中の行軍でしたが、鳥のさえぎりや風穴からの冷たい風にほっとしつつ楽しくおしゃべりしながら歩きました。わさび平小屋でお風呂をいただき、明日からのお天気を祈って床につきました。夜中外に出ると満天の星でした。

二日目、双六小屋まで標高差 1300mの登りでしたが、ゆっくりと歩みを進めました。途中鏡池では残念ながら槍の穂先だけが雲に隠れていましたが、池に映る穂高連峰の美しい山容を見ることができました。鏡平山荘で名物のかき氷を食べて再び登りはじめ、弓折乗越まで来てほっとしたのもつかの間、さらに長い間登ったり下ったりしてやっと双六小屋に到着しました。

三日目、早朝 4:15 に双六小屋を出発し、三俣蓮華岳への巻道分岐で日の出を迎えました。花の百名山といわれる双六岳の高山植物の咲き乱れる巻道をたどって三俣山荘に到着、荷物をあずけて雲ノ平に向かいました。黒部川源流まで下り、そこから速い組とゆっくり組に分かれたのですが、雲ノ平山荘が見えた地点で合流して一緒に戻る段取りにもかかわらず、速い組が雲ノ平山荘を目指してしまい別行動となってしまいました。その結果速い組の三俣山荘への帰着が 17:30 と予定時刻を大幅に過ぎてしまって留守本部にご心配をおかけしたことは大変申し訳ないことであり、大いに反省すべきことでした。無線機も持っていたのですが無線が届かない距離まで離れてしまい、お互いの様子がわからなくなったことも問題でした。別行動はしない、無線が届かない距離まで離れないことが鉄則ということをもう一度肝に銘じたいと思います。それでも雲ノ平の素晴らしい景色と満開のチングルマを見ることができ、ようやくここまで来られたという感動でいっぱいでした。

四日目、同じく早朝に出発し、美しい朝焼けに映える山並みを見ながら歩きました。三俣蓮華岳頂上で北アルプスの真ん中からの絶景を堪能し、双六岳頂上からは天空の滑走路といわれる広大な稜線の先に見える燕、常念から槍、穂高に至る北アルプス連山を眺め、大満足で下山し始めましたが、景色を見ると写真を撮るのでゆっくりしすぎて鏡平についたのがすでに午後 1 時ころとなり、そこでまた名物のクリームソーダを飲んだりして下山が 17 時ころになってしまいました。わさび平でホテル穂高の食事が 19 時までとわかって大急ぎでホテルに向かい、なんとか明るいうちにホテルに到着することができました。下りに予想外に時間がかかったことも反省事項ですが、疲れが出ている中、安全に下るためには仕方なかったかなと思います。

ホテル穂高では飛騨牛の会席料理とお酒で打ち上げをして温泉にゆっくりつかり、長かった山旅の疲れを癒すことができました。この老舗ホテルも来年老朽化のため閉館されるようで名残惜しいことでした。

五日目、帰りに郡上八幡で写真に撮るとモネの絵のように写るモネの池を見学して京田辺に戻りました。

総距離 41km、標高差 3200m、トータル 40 時間のハードな山行でしたが、登山道はよく整備されており、安心して歩くことができました。また行程中ずっとお天気に恵まれ、雄大な山々とたくさんの高山植物、雷鳥も見られてとても充実した 5 日間でした。全員が怪我もなく無事帰ってくる事ができてほっとしています。反省事項は今後の山行に生かしていきたいと思ひます。山行の様子をInstagramにアップしていただいておりますのでどうぞご覧ください。

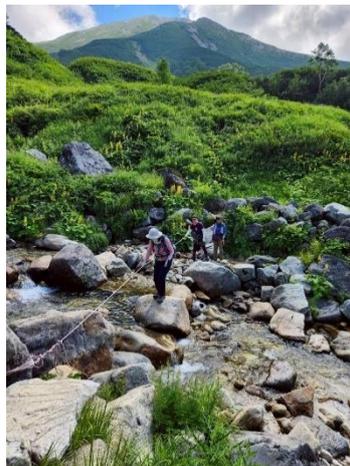
感想 かなび 3 月号で、原田さんの「花の百名山 双六岳～雲上の樂園 雲ノ平 4 泊 5 日」の案内を見たたん、行きたいと思ひ、申し込みました。5 日間ともお天気に恵まれ、おしゃべりも楽しく、とても充実した思い出深い山行になりました。様々な種類の高山植物が咲き誇り、そして、険しい山肌を登った先に、広がる何層にも連なる深い山々の景色に魅了されました。日本最後の秘境 雲ノ平も美しかったです。双六岳から槍ヶ岳に向かう一本の道、天空の滑走路も綺麗に見ることができました。初めての 4 泊 5 日という長旅でしたが、何とか最後まで、しっかり歩くことができました。原田さんを始め、お世話になった皆さん、本当にありがとうございました。(山内)

天候に恵まれ 4 泊 5 日の女子旅で毎日素晴らしい景色を堪能できました。行く先々で可憐な花々に出会う事ができました。シモツケソウ、ヤマオダマキ、キヌガサソウ、ニッコウキスゲ、チングルマその他にも様々な花々が迎えてくれ、ワクワク気分を足を進めました。日の出から星空まで最高でした。三俣山荘では鹿のシチューで疲れを忘れ、食後はサイフォンで淹れた珈琲やラム酒入りのチャイも頂くことができました。クタクタになった 4 日目の夕飯はホテルで地元料理と飛騨牛ステーキが本当に美味しかったです。(川田ま)

ヒヤリハット なし



双六岳山麓の巻道コース 雪渓あり



黒部川源流を渡る



三俣蓮華岳山頂



←雲ノ平



↑三俣山荘にて



←双六岳山頂



天空の滑走路から槍めざして飛行開始！